

山口県感染症発生週報

(第2週:平成25年1月7日～1月13日)

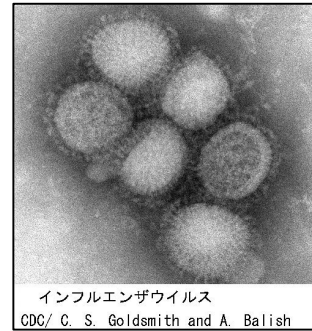
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第1週追加:1例(山口)。 第2週:2例(岩国2)。

【5類感染症】

◆後天性免疫不全症候群: 第2週:1例(岩国)。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 第52週(2012年12/24～12/30)に流行シーズン入りし、報告数はさらに急増しています。地域別でも多くの地域で流行しており、特に岩国、周南、山口は多くみられます。迅速検査では、A型530例、B型29例、臨床診断39例でした。また当所で、第52週、第1週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が3例検出されています。今後さらに増加することが予想されますので注意が必要です。【注意報レベル=岩国(新)、周南(新)、山口(新)】※

◆感染性胃腸炎: 第49週(12/3～12/9)のピーク時に比べて減少していますが、引き続き注意が必要です。【警報レベル=周南(8週目)】※

◆水痘: 第44週(10/29～11/4)以降急増し、今週はさらに増加して多い状況です。地域別では、長門、萩、周南、防府が多くみられます。12月から7月にかけて多くみられる疾患ですので、注意が必要です。【警報レベル=長門(3週目)、注意報レベル=萩(3週目)、周南(2週目)、防府(2週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	52週	1週	2週	疾患名	52週	1週	2週
インフルエンザ	103	171	598	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	63	41	60	ヘルパンギーナ	1	1	1
咽頭結膜熱	20	4	13	流行性耳下腺炎	4	5	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	139	61	134	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	508	315	476	流行性角結膜炎	3	0	5
水痘	128	153	164	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	11	7	8	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	2	1	5	マイコプラズマ肺炎	8	5	3
突発性発しん	24	12	38	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	84	132	36	116	24	84	70	26	26	598
RSウイルス感染症	18	3	2	9	3	10	8	7	0	60
咽頭結膜熱	5	0	0	3	3	0	1	0	1	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	9	7	18	10	26	19	6	3	134
感染性胃腸炎	142	44	7	121	18	40	65	9	30	476
水痘	17	12	11	38	12	19	27	16	12	164
手足口病	1	0	0	6	0	0	1	0	0	8
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5
突発性発しん	8	1	1	11	4	9	4	0	0	38
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	1	0	3	9	0	0	0	0	0	13
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	4	0	0	0	1	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0